

令和7年度

パピーナ本天沼保育園

すくわくプログラム

テーマ： かたち

活動 形

形を模倣、聞き取り、記憶して積むという経験を重ねながら形の変化を楽しむ

環境をデザインする

●準備した物

積み木

探究活動を実践する

●活動内容

いろいろな形に積んでみる

色を知り理解する

●子どもたちの様子

最初に5色の色の名前を確認すると大きな声で色を教えてくれた。積み木を並べて、「一階の青の積み木の上は何色かな?」「じゃあその上は?」と尋ねると「緑!」「黄色!」など色だけでなく場所も考えて、答えようとする姿が見られた。見本を見せて、同じように置いてみようと言えと、自分の積み木と見比べながら慎重に確かめたり、考えながら積み木を並べる姿があった。



●振り返りをふまえた気づき

担任より

講師の見本を見ながら、様々な色の積み木を積み上げたり並べたりして楽しんでいた。見本を見ながら真似することはほとんどの児が出来ていたが、言葉だけで伝えた時は間違えてしまう児が多かったため、普段の生活の中でも視覚から物事を捉えているか、聴覚で捉えているかの違いを見る事が出来た。

講師より

積み木を見本と同じように並べたり、言葉で伝えられた色や場所の通りに積んだりする中で、子どもたちは形の変化に関心をもって取り組んでいた。友だちや保育者とのやり取りを通して色や位置の言葉に親しむ姿があり、今後も遊びの中で自然に言葉を使えるよう支えていきたい。

活動スケジュール

3歳児クラス

日にち	令和7年9月12日
時 間	30 分
参加人数	14 人

令和7年度

パピーナ本天沼保育園

すくわくプログラム

テーマ： ことば

テーマを設定する

遊びや生活の中で、ものの位置や関係を表す言葉にふれながら、ことばで伝える楽しさを自然に感じていく。友だちと一緒に言葉を交わす中で、自分なりの思いや気づきを言葉にする心地よさを味わい、のびのびとやりとりを広げていく。

活動 位置の言葉の理解

上、下、手前、後ろなど、位置を表す言葉を知り、位置の理解を深めていく

環境をデザインする

●準備した物

積み木

探究活動を実践する

●活動内容

積み木の位置を考える

いろいろな積み方をし、形の違いを経験を通して、位置を理解する。

●子どもたちの様子

並べた積み木を見せて「緑の積み木はどこにあるか」と尋ねると、「赤の下！」と元気に答える姿や、前からは見えない積み木の存在に気づいた発言があった。見本と同じように並べ「出来ました！」と声を上げる姿も見られた。声に出して積み木の並びを記憶していたが、途中からは声に出さずに覚えて作る姿、他の子を見ながら慎重に作る姿、友達に「赤だよ」と教える姿など、さまざまな取り組み方があった。



●振り返りをふまえた気づき

担任より

ホワイトボードを見たり、講師の言葉の指示を良く聞き、ほとんどの児が積み木を並べることができていた。最後は、ホワイトボードの絵を繰り返し声に出して覚えて記憶した通りに並べる等、集中して取り組んでいた。また立体に積んだ積み木を横、上、前から見た時に何個見えるかを観察する場面では「2個、見えた！」など見える数を数えたり、角度によって見える数が違ったりするこにも気づいていた。日頃の保育の中でも、左右上下など子どもに分かりやすく言葉で伝え、色々な視点で物を見て変化に気付けるような声掛けをしていきたい。

講師より

積み木の位置を言葉で表したり、前からは見えない積み木に気づいたりするなど、子どもたちは位置の違いに関心をもって取り組んでいた。声に出して覚える、自分なりに記憶して挑戦する、友だちとやりとりしながら確かめるなど、それぞれのやり方で試行錯誤を重ねていた。今後も遊びの中で位置の言葉を自然に使えるように支えていきたい。

令和7年度

パピーナ本天沼保育園

すくわくプログラム

テーマ： かず

活動 図形分割

同じ形、同じ大きさということを考え、折り紙とハサミを使って形が変化する楽しさを体験する

環境をデザインする

●準備した物

おりがみ、はさみ

✓ハサミの扱いに注意する

●活動内容

同じ大きさの分け方を考える

●子どもたちの様子

折り紙を二つの同じ大きさに分けるにはどうしたらよいか問いかけると、「折り紙を折る!」と声があがり、半分に折る姿があった。「四つの形に分けるにはどうするか」と問いを重ねると、それぞれが考え、三角や真四角に分ける姿が見られた。三枚目は「今までとは違う形にしよう」と伝え、と、「うーん」と悩む様子もあったが、長四角のほか、直角三角形や台形など、それぞれが自分で考えた形に分けようとしていた。



●振り返りをふまえた気づき

担任より

ハサミの使い方の確認を行いながら、折り紙を同じ形に半分にするためにはどうしたら良いかを考え真剣に取り組んでいた。最初は何をするのか分からない様子の児もいたが、分からないところを確認して一緒に取り組むことで気づきに繋がり楽しさを感じる様子も見られた。自分で考えて取り組む力が育まれていることを感じた。

講師より

折り紙を半分や四つに折る中で、子どもたちは形が変わっていく様子に注目しながら取り組んでいた。丁寧に折ったり切ったりする動作を繰り返す中で、三角や四角など分け方によって現れる形の違いを楽しみ、新しい形に挑戦する姿もあった。形を分ける経験を通して発想が広がっており、今後も多様な形に触れる機会を大切にしていきたい。